

症状なくとも検査重要

受けた一度、内視鏡検査を受けることをお勧めします。この中で大腸がんの方が多い場所で最も最近は家族歴、肥満、喫煙習慣などがあります。その中でも年齢50歳以上、大腸がんの危険因子として大腸がんを除すといつて大腸がんのリスクを減らします。このため、内視鏡検査を受けることになります。

腫瘍の位置	右側大腸がん	左側大腸がん
盲腸・上行結腸	△	○
横行結腸	○	△
S状結腸	○	○
腹痛、吐く	○	△
貧血	○	△
血便	○	△
便柱狹小化	—	○
排便習慣の変化	△	○
腫瘍触知	○	△

○比較的起じやすい症状
△発見の契機になりやすい症状
—起じない稀な症状

ではまず抗がん剤の点滴治療を行っており、徳島県立がんセンターが運営されています。外來化学生病室の件数の治療をしています。医師、薬剤師、看護師が一緒に治療を行っていますが、その前のがん病変から発がんでいます。大腸がんの検査などで多くあります。外來通院しながらも定期的に検診などを受けるため、検診などで病状の変化を感じてから発現する場合があります。早期発見が重要です。血液検査や食事、生活状況を確認しながら患者個人に合った治療を進めています。血便専門家が協力し、副作用のリスクを考慮してから治療を進めています。

がん何でもクイズ
がん何でも
Q&A

がん何でも日常生活を送りながら継続していくことが重要で、治療内容についてお問い合わせください。
①乳がん②子宮頸がん③胃がん

行こうよ！がん検診

大腸がん通院治療であります。

個人に合わせて方針決定

他の人がんと同じ病変の広がりをみて、治療方針を決定します。早期大腸がんであれば、内視鏡治癒大腸カメラにより切除できる場合があります。進行しても、リバペルトリートメントによる肺転移などが大腸の近くに転移がある場合、手術を行えます。肝臓や腎臓などの遠くの転移がみられた場合は転移があり、手術の難易度もあります。おそれく相談された方は抗がん剤治療を中心とした治療を行われます。肝臓や腎臓などの遠くの転移がみられた場合は抗がん剤治療が中心となります。このうち個別化治療など、それらをターゲットとした分子標識が有効な場合があります。このことで、これまでの治療が期待されます。

連携セミナー特任教授

答 大腸がん診療

影本 開三



うつ症状に注意すればよいですか。

質問 親戚が大腸がんと診断され、抗癌剤治療を受けます。入院せずに治療するといふことがあります。父親も大腸がんでした。早期発見が大事と聞きますが、どの

がんに関する質問は一徳島がん対策センター電話088(634)6442(平日午前8時から午後5時まで)

がんに関する質問は一徳島がん対策センター電話088(634)6442(平日午前8時から午後5時まで)

